

教科(科目)	国語（言語文化）	単位数	2単位	学年(コース)	1 学年
使用教科書	高等学校 標準言語文化（第一学習社）				
副教材等	常用漢字ダブルクリア（尚文出版）新全訳古語辞典（大修館書店）				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等希望者が多岐にわたっていることや、成人年齢の引き下げを考慮し、

- ①生涯にわたる必要な国語特に古典の知識や技能を身につける。
- ②我が国の言語文化の担い手としての自覚を養う。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・レポートやワークシート、提出物、小テストなどの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、取り組み姿勢、提出物などの内容の確認 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、取り組み姿勢、提出物などの内容の確認 などから評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	古文を読むために1	8「C読むこと」	「児のそらね」 古文を読むために	- 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 - 主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 - ワークシートに記入し、理解を深める。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、 内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
5 6 7	漢文を読むために	10「A話すこと・聞くこと」	訓読に親しむ 「矛盾」	- 漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 - 訓読のきまりを理解する。 - ワークシートを使って基礎的な訓読のきまりを習得する。 - 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 - 漢文の句形を理解する。 - 故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、 内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
9	古文に親しむ	10「C読むこと」	「なよ竹のかぐや姫」	- 現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 - 作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 - 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 - 主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 - 初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、 内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
10	小説を読む	8「B書くこと」	「羅生門」	- 小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 - 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 - 登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 - 老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。 - 典拠となった『今昔物語集』の説話と粘り強く読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、 内容 定期考査、小テスト 振り返りシート

1 1	故事成語	10「B 書く こと」	「蛇足」	・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。 ・漢文の句形を理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・課題に応じて調査する。 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・故事成語の由来と意味を積極的に調べ、調べた内容を工夫してまとめようとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、 内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
1 2	随筆を読む	8「C 読む こと」	「枕草子」	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解する。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・「春は、あけぼの」「うつくしきもの」では、時間の経過による言葉の変化について理解する。 ・作品に表れたものの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
1	小説を読む	8「C 読む こと」	「鏡」	・恐怖体験の一つとして語られる、幽霊でも超常現象でもない、人の内面に潜む恐怖とは何かを読み解く。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・恐怖体験を語る小説における、暗示や比喩の効果について、積極的に評価しようとしている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート
2 3	漢詩の鑑賞	8「聞くこと・話すこと」	「春暁」「静夜思」「春望」	・日本の各時代によまれた漢詩を鑑賞し、人への思いがどのように表現されているかを読み取る。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・今までの学習を生かして漢詩のきまりを押さえ、よまれた心情を積極的に説明しようとしている。 ・我が国の文化に漢詩が浸透していたことに興味を持ち、中国の文化との関係に理解を深めている。	a b c	授業態度 発問評価 ワークシートの提出、内容 定期考査、小テスト 振り返りシート

計 70 時間 (50 分授業)

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 18 時間	B「書くこと」 18 時間	C「読むこと」 34 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・古典分野の場合は課題を示しますので、必ず取り組んで提出しましょう。
- ・授業はノートやワークシートを用いて行い提出した内容で「主体的に学習に取り組む態度」を見ます。

7 担当者からの一言

- ・「言語分野」はいわゆる古典分野だけでなく、近代の文章も入っていますので、身近な作品も多くあります。生涯にわたって必要な知識や技能だけでなく、我が国の言語文化に対する理解を深めていきましょう。

